

Weekly Report



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー:変化をもたらす
(ROTARY:MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立:1980年(昭和55年)1月10日
会長:稲葉 徹
幹事:大嶽 達郎
クラブ広報委員長:鈴木 健司
例会日:毎週木曜日 PM12:30~
会場:ヒルトン名古屋

事務局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

第1827回例会

～母子の健康月間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2018年4月5日(木) 晴れ 第35回

司会:山口哲司会場副委員長
斉唱:「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト:西名古屋分区ガバナー補佐 宮崎 薫さん
西名古屋分区区幹事 白木 良彦さん
萩原 孝則さん

会長挨拶

稲葉徹会長



皆さん、こんにちは。今日は、最近よく新聞雑誌でとりあげられている「ふるさと納税」についてお話ししたいと思います。何だかすごくお得な制度らしいと聞くけど一体どういう仕組みかわからないという人も多いようですので、その仕組みについてとりあげたいと思います。この制度は簡潔に述べますと平成20年から始まった制度であり、自分のふるさとに税金を納めると考える人もいらっしゃると思います。しかし、税金ではなく自分の生まれた故郷や応援したい自治体に寄附を行うことにより、所得税法上一定の計算のもと、寄付金から2,000円を控除した金額について、所得税及び住民税が減額を受けることができるというものです。

今日の日本では、人口減少が進み過疎化が進む地方の自治体が数多くあり、その結果地方の自治体は都市部に比べると税収も少なく、住民に十分なサービスを提供できないという問題を抱えることになります。そのような自治体を応援するために寄附をすること、これがふるさと納税です。ふるさと納税を行った場合は、所得税法上、地方公共団体に対する寄附として特定寄附金に当たり、寄附金額(総所得金額の40%が限度)から2,000円を控除した金額について寄附を行った年の所得税(復興特別税を含む)から所得控除として寄附金控除を受けることができます。また、地方税法上は、寄附金額から2,000円を控除し、更に所得税の計算上軽減された税額に相当する金額を差し引いた残りの金額について、寄附金を行った年の翌年度の住民税額の計算上、寄附金税額控除として住民税額から減額されるというものです。厳密にいいますとこのようになりますが、簡潔に言えば一定額以上の所得があり、寄附金額も常識の範囲であれば2,000円の実質負担で返礼品を受けられるというわけです。

ふるさと納税が注目されている理由は、寄附した自治体からの返礼品をお取り寄せ感覚で選べ、また、複数の自治体へ寄附できることです。返礼品のみでなく地震や水害といった災害支援として特定の自治体へ寄附をして、直接被災地へ寄附できる点でも注目を集めています。

この制度を利用するためには、ふるさと納税を行った翌年に所得税の確定申告をする必要がありますが、平成27年から「ワンストップ特例制度」が利用できるようになりました。但し、「ワンストップ特例制度」では6以上の自治体への寄附や、確定申告する場合は所得税と住民税が控除の対象となりますが、「ワンストップ特例制度」ではこの両方の控除が受けられないというデメリットがありますので注意が必要です。

ふるさと納税について申告する場合は寄附金控除の添付書類として寄附先の領収書が必要ということと、その寄附の返礼品を受けとった場合、返礼品の原価部分(総務省の指導では寄附金額の3割程度)が一時所得となりますので、多額の寄附をされ多くの返礼品をもらっている場合は注意が必要です。

出席報告

田中宏出席委員長

会員64名 出席52名 (出席計算人数46名)

出席率 94.5% 3月29日は補填により88.9%

ニコボックス

田中宏ニコボックス委員長

- ・本年度4回目最後の訪問となりました。瑞穂RCの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。西名古屋分区ガバナー補佐 宮崎 薫さん 分区幹事 白木 良彦さん
- ・先月は妻の誕生日と結婚記念日でした。今日は卓話の担当です。よろしくお願いします。 鈴木 淑久さん
- ・この度、お陰様で弊社設立50周年を迎えました。これからもがんばります。宜しく願います。 鳥山 政明さん
- ・祝 出席免除!!淑久くん卓話楽しみです。 内田 久利さん
- ・今月15日が誕生日です。鈴木淑久さん、卓話楽しみにしてます。 近藤 茂弘さん
- ・4月1日は結婚記念日でした。何回目かは忘れました。 亀井 直人さん 久しぶりの気がします! 高村 博三さん
- ・昨日、ドラゴンズが初勝利、これから期待。エンジェルス大谷スゴイ!!! 山口 哲司さん
- ・昨日長谷川先生にでき物をとってもらい、ありがとうございました。昨日はいつも拝見している長谷川先生ではありませんでした。 湯澤 勇生さん
- ・自宅(尾張旭)から師崎までのウォーキングを延べ7回で先日完歩しました。また、新しい発見がありました。 田中 宏さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・本日13:40分から第10回理事会をヒルトン名古屋4F「梅の間」にて行います。
- ・4月8日(日)に春の家族会を蒲郡クラシックホテルにて行います。9:00に瑞穂運動場に集合です。
- ・次週4月12日(木)振替により例会変更

委員会・同好会報告

親睦活動委員会:近藤茂弘委員長

今日の日曜日9時に瑞穂運動場に集合をお願いします。車で来られる方が多いと思いますが、駐車場は8時15分から開いております。駐車場の場所についてですが、出席される方に駐車場の案内をFAXしたいと思いますので宜しくお願いします。

カラオケ同好会:近藤茂弘さん

カラオケについて、来週の火曜日18時30分からカラオケを稲穂でやりたいと思いますので宜しくお願いします。

委嘱状授与

稲葉徹会長より、堀慎治さんに「2018年度米山奨学生カウンセラー」の委嘱状が送られました。

奨学生は名古屋経済大学のグエンティカリンさん、期間は2018年4月1日～2020年3月31日の2年間の予定です。



4月誕生日おめでとう

鈴木 伸一さん 北岡 寿人さん 近藤 茂弘さん 星野 一郎さん

皆さん、こんにちは。貴重なお時間いただきまして、ありがとうございます。今日はお礼に来させて頂きました。1つは、IMではお世話になりましてありがとうございます。全員登録いただきまして、お陰様で877名という多くの方々に登録をいただきました。実際に出席していただきましたのは、570名くらいとのことではありましたが、非常に盛大に行うことができました。特にこちらからは、森の防潮堤プロジェクトの発表いただきまして、私もあのどんぐりのご苦勞をお聞きしまして、改めて感動致しました。本当にありがとうございました。

また、桜の回廊プロジェクトでは、西名古屋分区は非常に協力数が多くて、1124名の方からご協力いただきました。そして、これは東名古屋と協同でしたので東名古屋の方が654名、トータルで1778名の方から、それぞれ一人1,000円いただきましたから1,778,000円、それに25クラブの社会奉仕からの30万円の補助金と特別寄附ということで南RCから15万円いただきました。トータルで2,280,000円の収入で実行させていただきました。支出は、2,058,440円ということで実は171,000円ほど助余金が出ましたが、これは次年度2年のプロジェクトでございますので、次年度の方に繰越金として活用していただくことにしております。詳細に尽きましては、今朝できたばかりですから、来週月曜日には会長宛に詳細をご報告させていただきます。いづれにしても、素晴らしい桜の回廊ができることと思います。ぜひ次年度あたりには桜の咲く頃に、例会を東山動物園でしてみたいでしょうか。本当に色々今年一年お世話になりました。ありがとうございました。名古屋瑞穂RCの益々の御発展をお祈りしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。



卓話

あつた宮宿会 会長 鈴木淑久さん

皆さん、こんにちは。私は『あつた宮宿会』という会を作り熱田の界隈を盛り上げるという活動をしています。その会員の中に、花井君や今日ゲストで来ていただいた萩原さんもいらっしゃいます。東海道シンポジウムをきっかけに宮宿会ができました。東海道シンポジウムとは、東海道53次と京都から大阪まで延ばした宿場町4つを加えて、57の宿場の内いづれか1つでどこかに集まって各地の情報交換をするという会です。平成25年10月には熱田神宮で開催しました。開催の1年半くらい前に、急遽相談を受けて最初6人で蓬莱軒で食事したのが始まりです。その際に花井君とも初めて会いました。人数的に200~300人来るイベントなので、人数が必要になり色々声をかけて、とりえずシンポジウムは終えることができました。その準備段階で、みんな熱田のことが好きだなと再認識し、シンポジウムを終わらせたら会を作ろうと決めて、あつた宮宿会として再発足しました。会員は、飲食店や駄菓子屋、お茶屋、花屋、酒屋、印刷屋、講師、漫画家、ゲームクリエイターなど他にも様々な職種の方が集まっています。今は五十数名の会員と活動しています。2014年10月20日に名古屋学院大学でキックオフシンポジウムを行いました。その模様を新聞に掲載し街の皆さんに知っていただきました。

名古屋は行きたくない街ナンバーワンと言われていますが、熱田1つを取っても本当に魅力のある街です。街の良さをどうアピールするか、どう楽しんでもらうか、地元の人が地元で楽しむことも大切だと思いますし、そういうことを知ってもらうことが大事だと思っています。例えば、熱田の名所だったら熱田神宮、それにお寺が100社あります。宮の渡し、裁断橋、国際会議場、白鳥邸、中央卸売市場、まだまだ各区に至っては沢山あります。熱田にゆかりのある歴史上の人物だったら、ヤマトタケル、ミヤズヒメ、源頼朝、織田信長、徳川家康、岡部又右衛門、松尾芭蕉などです。歴史を少しご紹介します。源頼朝が生まれたのは熱田です、この事は名古屋でも知らない人が多いです。織田信長は信長堀を熱田神宮に寄進しました。徳川家康は信長の父親に幽閉されていましたが、加藤隼書助というお侍さんの家に住んでいたそうです。岡部又右衛門は安土城を築城した人で、信長に日本一の棟梁だと認められていました。亡くなったのは本能寺の変で信長と一緒に亡くなっています。俳優の西田敏行さんが主演で岡部又右衛門を演じた映画にもなっています。松尾芭蕉は、現在の蓬莱軒神宮店のある場所に滞在したそうです。歴史上、幕府は3つ、鎌倉と室町と江戸がありますが、幕府を作った3人のうち2人が熱田に住んでいたことは、自慢できる話の一つです。熱田って実はすごいんだよという事を子供たちにどう伝えたいのかということを考えて活動をしています。

次に、活動についてご紹介します。まず1つめに、紙芝居を制作し、小学校で読み聞かせを行っています。なぜ紙芝居にしたかということ、まず歴史と触れる入り口を紙芝居で分かりやすくすることで、易しく歴史を知ってもらうからとどんどん勉強してもらおうという狙いがありました。そして、熱田や名古屋に対する愛情を持ってもらいたいという大きな願いが根底にあります。紙芝居の題材は、第一段はヤマトタケルノミコト、第二段が織田信長、第三段まで作り、1年に1個のペースで作りました。熱田の7校の小学校で読み聞かせに行っており、授業の一環として毎年1時間いただいています。ご理解をいた

ただ、子どもたちと関われることをすごく嬉しく思っています。また、中京病院で小児病棟の子供たちに読み聞かせをしました。名古屋瑞穂RC会員の長谷川隆さんのご協力を得て実現しました。小児病棟の子供たちへの読み聞かせは、新聞にも取り上げていただいて注目を浴び、とても興味を持っていただいています。図書館にも紙芝居を寄贈しました。貸出も多いと館長さんから聞いています。

2つめに、市の開催です。大きく2つの市をご紹介します。まず、『宮の浜市』という宮の渡し公園で、宮渡しがあった当時の賑わいを復活させるために企画させていただいています。そして、『あつた朔日市』は毎月1日に熱田神宮か秋葉山圓通寺で開催させていただいています。あつた農園といって、名古屋近郊の農家の方に集まっていただいて、JAなどを通してない個々にこだわりのある野菜や卵を販売してもらっています。毎月、あつた農園を求めて来てくれるお客様もいらっしゃいます。土日や夏休みと重なる場合は、子供コーナーを作り子どもが来ていい思い出になるようなイベントをしています。出店では、日頃やっていないこと、特別な何かをして楽しんでもらうとやっています。例えば、私の蓬莱軒も出店しますが、たませんという下町の駄菓子がよくやっていません。べいをや唐揚げを売ったりしています。また、参拝者の方に来ていただくために何かしなくてはと思い、『あつた宮餅』という目玉を作りました。このあつた宮餅は、あんこは亀屋芳広のあんこ、妙香園のほうじ茶を練り混ぜて、これを包んでいるのがきよめ餅、ここに蓬莱軒が作ったタレをかけて食べていただくという、老舗4社がコラボレーションしたお餅です。1個1000円ですが、この内の300円を運営費に回しています。先日4月1日は、1万人を超え非常に賑わいました。餅も700個完売させていただきました。本当にありがとうございました。活動も宮餅も、新聞やテレビなどのメディアで紹介していただきました。このあつた朔日市の賑わいを熱田中に広げようと、商店街やスーパーなどにも働きかけをしています。これは名古屋学院の生徒達が手伝ってくれていますが、スーパーやイオン、日々野名古屋商店街などにもあつた朔日市ということでやっていただいています。また、神宮前商店街で協力してくれる商店に登りをプレゼントしています。お金のないところには登りをプレゼントして、イオンなどにはお金をいただいています。そうやって少しずつ広めていこうと活動しています。この学生の活動も新聞で紹介してもらいました。

活動の3つめは、講演をさせていただいています。熱田の歴史や食にまつわる話、白鳥山の住職に話して頂きイベントを作っています。

活動4つめは、先日の4月1日に『名古屋あつたカルタ』というものを作りました。これは元ローターアクト会員の坂上君が中心になって作ってくれました。普通のカルタとは違い、手札の裏には細かく説明が書いてあります。普通のカルタでは読み札の最初の文字さえ読めば取れますが、名古屋あつたカルタでは「あ」が3つ、「お」が2つあるなど1つの文字に複数の札があるので、内容を理解しないと取れないという仕組みになっています。4月1日の朔日市ではステージを作って畳を敷いて子供たちに遊んでもらっています。このカルタが出来て色々問い合わせもあり、古い歴史が題材なので熱田の歴史家の方々から要望や意見を収集して第2版を作りたいと思っています。カルタは2,000円で販売していますので、お子様達と勉強しながら遊んでいただくとありがたく思います。

名古屋瑞穂RCで先輩達にいろいろと教えてもらったり、ロータリーの仕組みなどからヒントになることが沢山ありました。名古屋瑞穂RCからも毎年、名古屋市内の25RCの社会奉仕委員会からも一昨年頂いて、各先輩方、会員の方々から協賛いただいて、本当に無駄にすることなく運営しようと日々頑張っております。長く続けていきたいと思っております。そのためにはやはりお金がそんなに掛からない会にしていきたいと思いつつ、皆様には甘えさせていただいていますが、そうゆうことでいると体力づけして次世代に繋げていきたいと思っています。先程お話しした東海道シンポジウムに昨年も行きましたが、ほとんどが70代後半からの人ばかりの集まりで継承されていかないというのが事実です。なかなか若い子が着いてこないという悩みを抱えています。幸い宮宿会には若い世代が沢山いるので、早め早めに切り替えて名古屋瑞穂RCで勉強させていただいたことを会にのせていきたいと思っています。今日お配りした資料ですが、協賛のお願いの紙も入っていますので、賛同いただけるようでしたら宜しくお願いします。オフィシャルに話す機会がなかなかないので、このような場をいただけたこと本当に感謝致します。ご清聴ありがとうございました。



例会のご案内

- 今週の行事 4月8日(日) 春の家族会
場 所：蒲郡クラシックホテル
- 次週 4月12日(木) 振替により例会変更
- 次々週卓話 4月19日(木)
テ マ：愛知県芸術劇場の取り組み
卓 話 者：愛知県芸術劇場企画制作部長 松田敦さん